

# 乙亥正屋敷廻遺跡の調査から

—因幡における弥生時代集落の実例—

- 1 立地
- 2 集落の構成要素
- 3 谷と導水施設
- 4 出土遺物から見える集落像
- 5 まとめ —乙亥正屋敷廻遺跡の調査から分かること—



↑谷の湿地に投棄された建築部材

とっとり埋文講座 2019年7月20日

とっとり弥生の王国推進課 青谷上寺地遺跡整備室 岡野 雅則

# 鳥取西道路の発掘調査 (H20~H30年度)

延長19.3kmの敷地内に、32か所の遺跡を発見・調査



→各遺跡で鳥取の歴史を解き明かすための大きな素材が得られている。

# 1 ムラの立地

弥生時代後期から古墳時代前期にかけての集落遺跡



乙亥正屋敷廻遺跡

鳥取→鳥取西道路



丘陵部

約150m

谷底平野

約40~50m

約90~100m

遺跡の推定範囲

○標高6~35m前後



## 2 集落の構成要素

- 1 竪穴住居
- 2 掘立柱建物
- 3 簡易建物(段状遺構)
- 4 貯蔵穴
- 5 導水路

乙亥正屋敷廻遺跡の集落景観→



### • 1 竪穴住居



鳥取県教育委員会2004『弥生のすまいをさぐる』より転載



妻木晩田遺跡の復元竪穴住居→

### • 2 掘立柱建物

丘陵部の掘立柱建物跡→

↓ 谷底平野の掘立柱建物跡



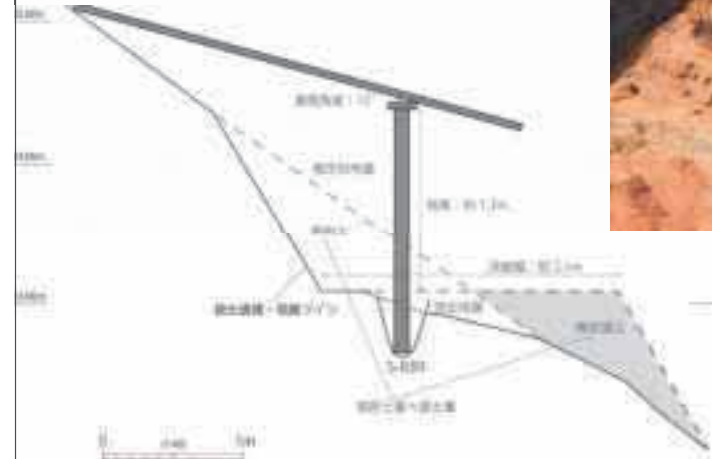
鳥取県教育委員会2004『弥生のすまいをさぐる』より転載



妻木晩田遺跡の復元高床倉庫→



### • 3 簡易建物(段状遺構)



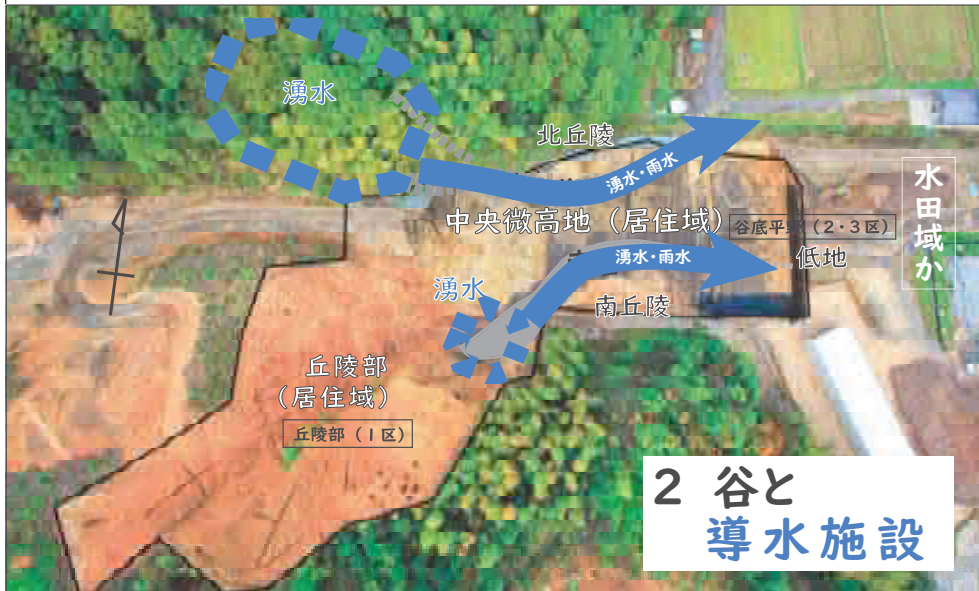
•4 貯蔵穴



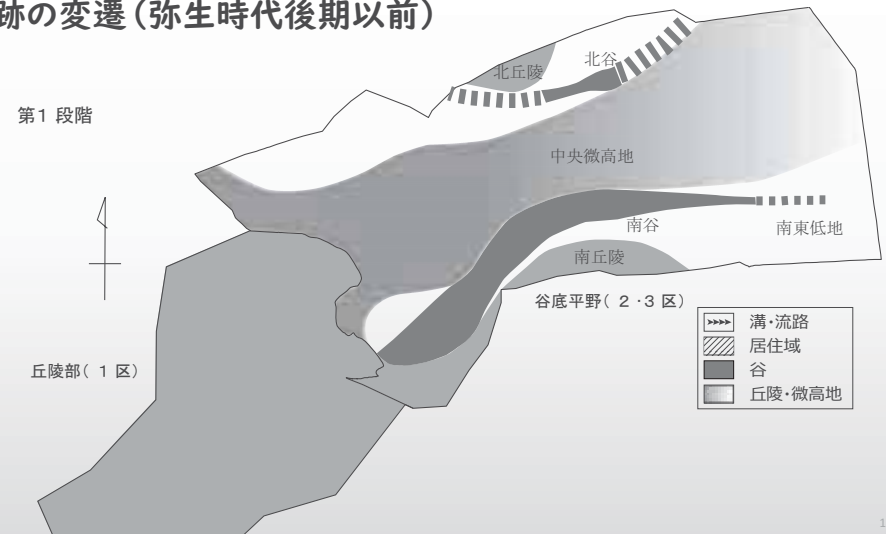
•5 導水路

<導水路の機能>

- ①湧水・雨水の排水
- ②水の利用



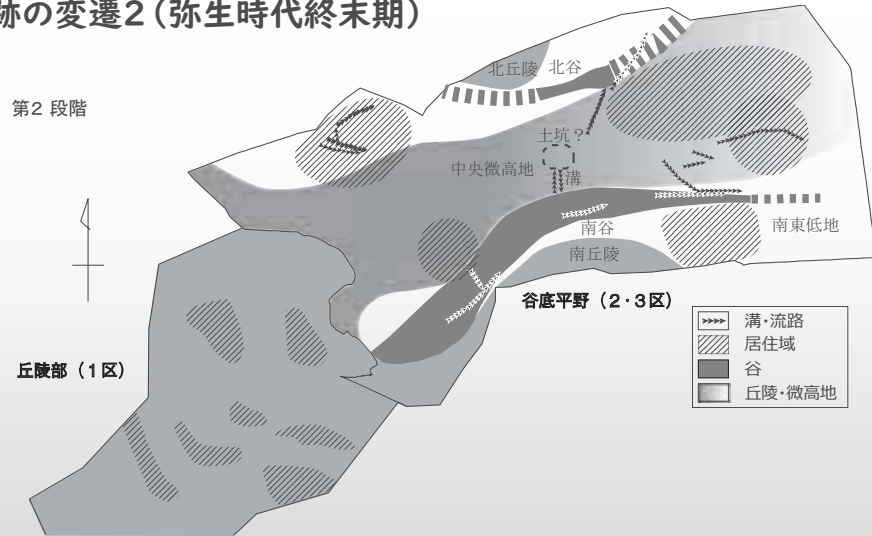
遺跡の変遷 (弥生時代後期以前)





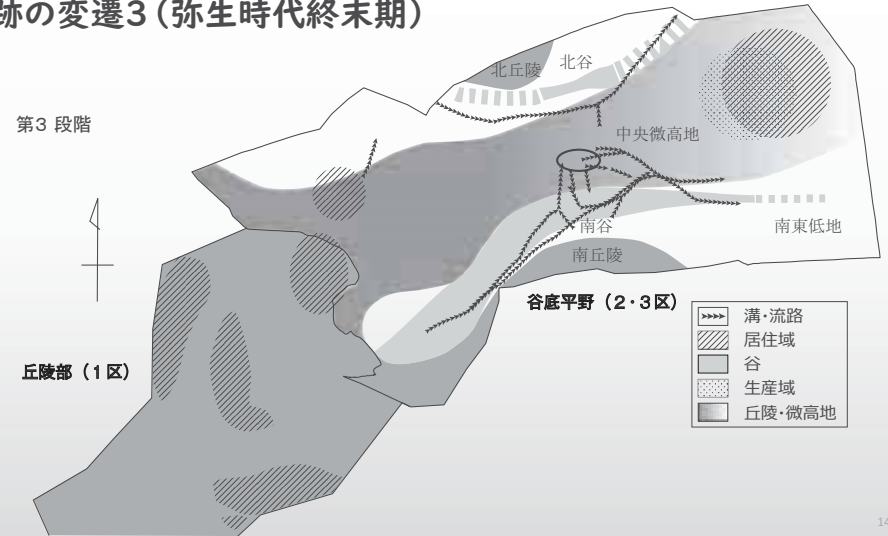
### 遺跡の変遷2 (弥生時代終末期)

第2段階



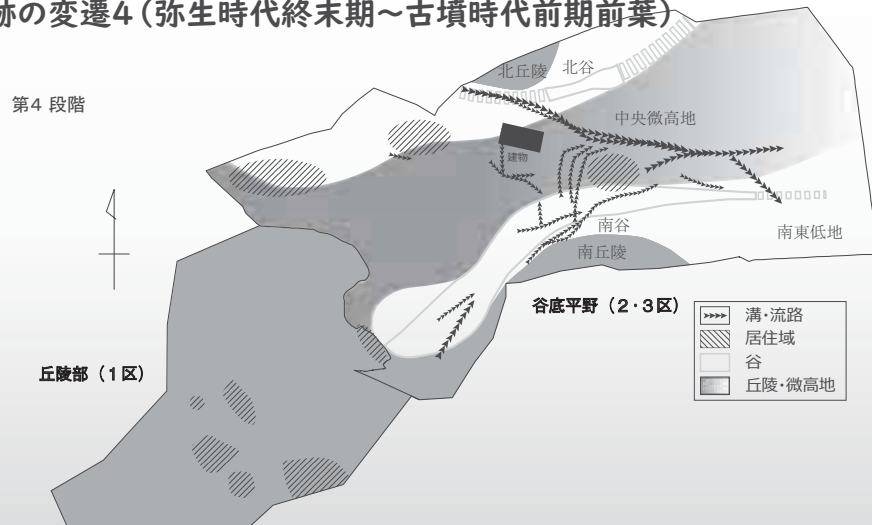
### 遺跡の変遷3 (弥生時代終末期)

第3段階



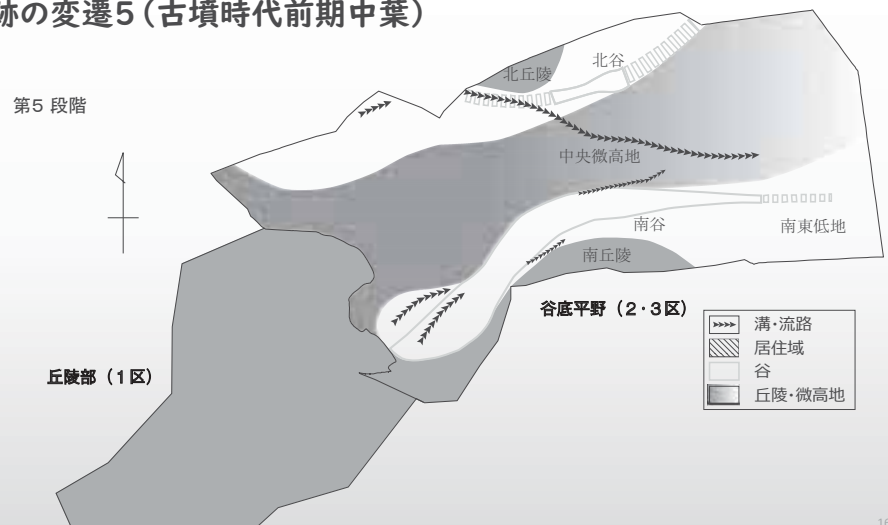
### 遺跡の変遷4 (弥生時代終末期~古墳時代前期前葉)

第4段階



### 遺跡の変遷5 (古墳時代前期中葉)

第5段階



## 4 出土遺物からみえる集落像

<出土遺物の特長>

- 青銅製品の出土 (巴形銅器1、銅鏃3、八禽鏡1など)
- 豊富な木製品 (容器類、農工具、漁猟具、武具、建築材など)
- 少ない鉄器出土 (袋状鉄斧1、板状品1など)
- 少ない外来系の土器 (地元の土器がほとんど)

17

### ・1 青銅製品

八禽鏡

素文鏡

銅鏃

巴形銅器

18

### ・2 木製容器 (花卉高杯)



4弁



4弁



5弁

- 樹種はクワ類
- 「精製容器」の一種

19



花卉高杯が見つかった遺跡

← (参考) 青谷上寺地遺跡  
出土の花卉高杯

20

・3 木製容器(精製容器)

○樹種は広葉樹が多い



台付壺



蓋



台付壺・蓋



高杯脚部



椀

・5 木製容器  
(粗製容器)

槽・盤類



・4 木製容器(粗製容器)

○樹種はスギが多い



桶



桶



削物箱



指物箱



指物箱



臼

・6 木製農工具



鍬・鋤



木包丁  
(穂摘具)



木槌



斧柄



工具の柄か



•7 木製漁撈具



25

•8 木製紡織具・服飾具



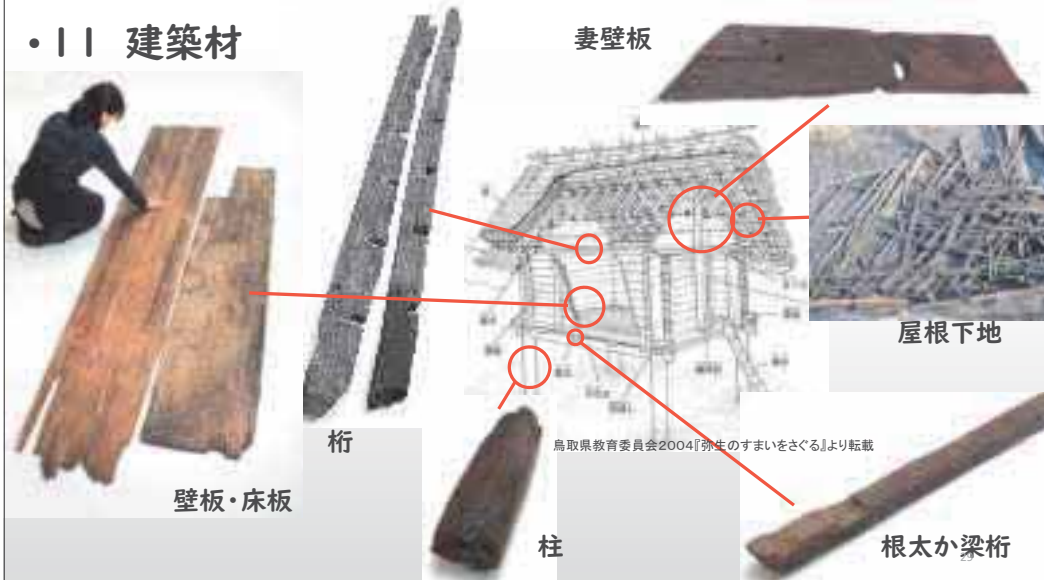
•9 木製武具



•10 木製品いろいろ



## ・11 建築材



## 5 乙亥正屋敷廻遺跡の調査から分かること

### ①ムラの景観と構成要素が分かる!

- 湧水地点に近い谷底平野と周囲の丘陵上の狭小な空間を有効に利用したムラの全体像が分かる因幡では稀有な事例。多様なムラの姿の一つのタイプ。
- 各時期数棟の竪穴住居に、掘立柱建物、簡易建物（段状遺構）、貯蔵穴などが加わりムラを構成。
- 谷底平野の居住域縁辺には、流水をコントロール、利用するための護岸溝を繰り返して造成。

30

### ②生活の具体像を知ることができる!

→集落内での木器製作、建物構造、生活用具の実像など

**ただ・・・今後多くの素材を比較検討することが必要!**  
出土しない鉄器、青銅器の位置づけなど、地域の中での位置づけを考える上では不明な点が多く、今後、青谷上寺地遺跡や鳥取西道路の調査成果など、他の遺跡との比較研究が必要!!

31